

**製品名: SDC1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81355**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	32.5kDa

**抗原情報**

遺伝子名	SDC1
別名	SDC; CD138; SYND1; syndecan
遺伝子 ID	6382.0
SwissProt ID	P18827
免疫原	大腸菌で発現したヒト SDC1 (AA: 28-171) の精製された組み換え断片。

**背景**

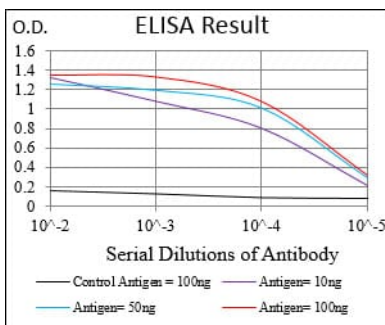
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、膜貫通型 (I 型) ヘパラン硫酸プロテオグリカンであり、シンデカンプロテオグリカンファミリーに属します。シンデカンは細胞結合、細胞シグナル伝達、細胞骨格形成に関与し、シンデカン受容体は HIV-1 tat タンパ

ク質の細胞内移行に必須です。シンデカン-1タンパク質は膜貫通タンパク質として機能し、細胞外マトリックスタンパク質受容体を介して細胞増殖、細胞移動、細胞-マトリックス相互作用に関与します。シンデカン-1の発現異常は、複数の異なる腫瘍型で検出されています。この遺伝子には複数の転写バリエーションが存在する可能性があります。現在までに完全長の変異体についてのみ報告されています。これら2つがこの遺伝子の主要な変異体であり、同じタンパク質をコードしています。

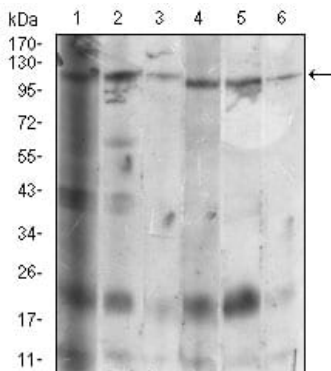
## 研究分野

-

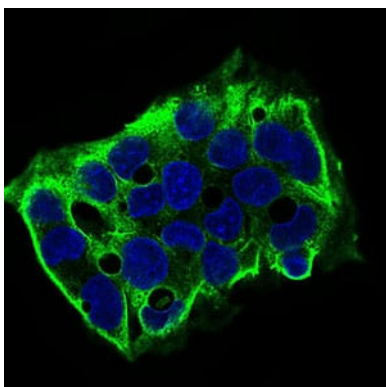
## 画像データ



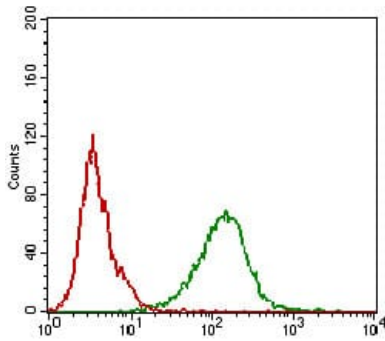
黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



Hela (1)、MCF-7 (2)、HepG2 (3)、T47D (4)、Jurkat (5)、NIH/3T3 (6) 細胞溶解物に対するSDC1マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



SDC1マウスmAb (緑) を用いたHepG2細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光DNA色素。



SDC1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した A431 細胞のフローサイトメトリー分析。